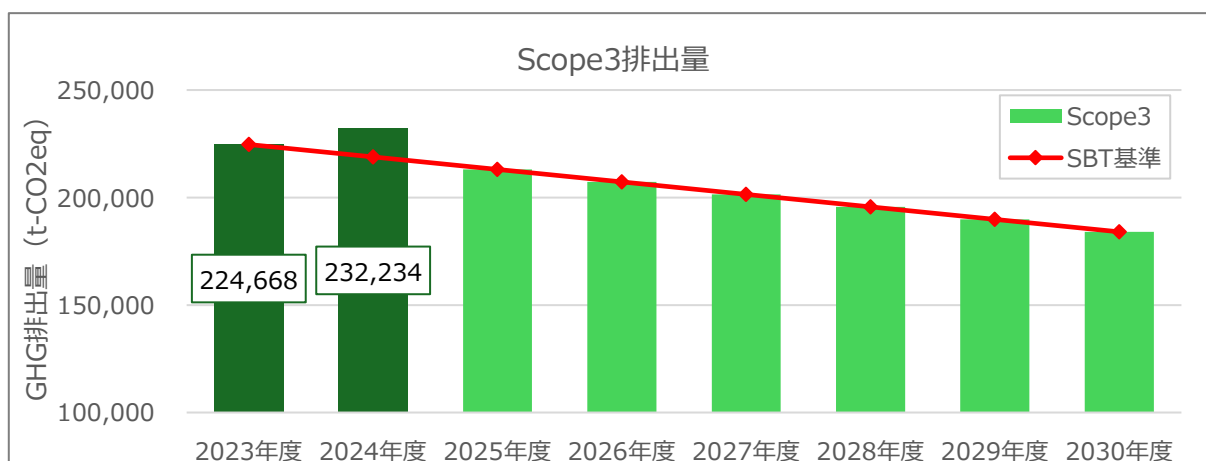
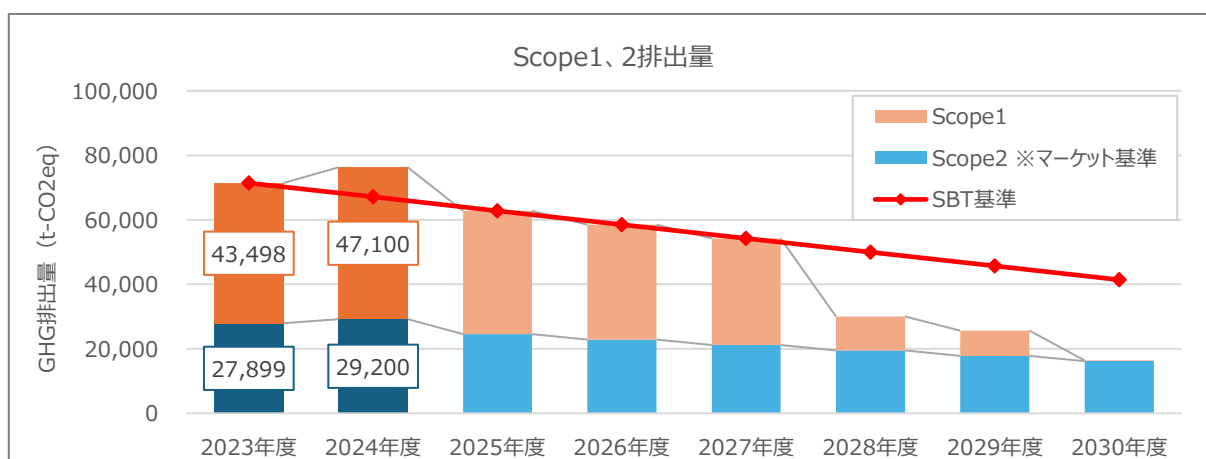


温室効果ガス排出削減に向けての取り組み

神島化学工業は、2025 年 7 月、温室効果ガス排出削減目標について SBTi (Science Based Targets initiative) の基準に基づく妥当性確認を受け、SBT 認定を取得しました。SBT とは「Science Based Targets」の略称で、パリ協定が求める水準と整合した、企業が設定する温室効果ガスの削減目標のことです。



当社では、2023 年度を基準として 2030 年の温室効果ガス排出量を Scope1+2 で 42%、Scope3 カテゴリ 1+2 で 25% 削減という目標に向けて、「CO2 RECYCLE PRODUCTION SYSTEM®」の取り組みの他、製造工程の改善によるエネルギー使用量の削減、廃棄物・副産物の有効利用など、環境に配慮した様々な取り組みを積極的に行っております。



※2025 年度の Scope1+2 排出量推移は、SBT 以上に設定した社内目標値

2024 年度は 2023 年度比で 6.9%(Scope1+2)、3.4%(Scope3)の増加となりました。

売上 100 万円あたりの排出量は Scope1+2 で 2.7t→2.8t、Scope3 で 8.6t→8.5t とほぼ横ばいとなっています。